

輸出事業計画

※申請者名：東亜食品工業株式会社 品目：乾麺

1. 輸出における現状と課題

- 国内消費縮小を背景に、日本の麺需要の高まる海外向けに自社ブランドや「播州ブランド」を確立し海外輸出拡大を目指す。
- 海外顧客への対応のため、多言語化HPの構築やSNS活用等のプロモーション活動を実施、展示会出展・商談会参加に取り組む。
- テスト販売・サンプル配布により把握した現地ニーズに対応する新商品開発を予定
- 間接輸出による現地ニーズ把握に限界を感じており、将来的に現地バイヤーとの商談を通じた直接輸出を視野に入れる。

2. 輸出事業計画の取組内容

- 多言語化HP構築やSNS活用、展示会への出展等によるプロモーション活動
- 展示会出展・商談会参加を行うことによる新規販路開拓を推進
- 日系商社を通じて海外輸入業者・ディストリビューター等と連携し、テスト販売・サンプル配布により現地ニーズを把握のうえ、新商品開発を実施
- 「播州ブランド」確立に向けたGI制度への登録手続着手（播州乾麺輸出拡大協議会）
- 海外顧客への対応が可能な人材の育成に着手

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

- P：海外輸入業者・ディストリビューターやJETROからの現地情報に基づき、直接輸出を含めた輸出事業計画・設備投資計画を検討
- D：計画に基づき、国内・海外での商談会・フェア販売等へ参加し、輸出を実施
- C：輸出の進捗状況について、JETRO・自治体・金融機関・域内連携事業者等の評価・アドバイスを踏まえ、必要に応じて計画を見直し
- A：輸入商社からのフィードバック等を通じて現地消費者の求める商品製造・改善に着手

4. 輸出目標額

	【現状】 (令和3年)	【目標】 (令和10年)
輸出額	123,200千円	200,000千円
主な輸出先	米国・欧州・東南アジア（シンガポール）等	米国・カナダ・欧州・中東・アフリカ・東南アジア（シンガポール）・東アジア・オセアニア等

- 目標額は現状の輸出額の162%を目指す
- 米国向け輸出を主としながら、欧州・アジア向けに輸出拡大を目指す